

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭
ながさきピース文化祭 2025

太鼓の祭典



【日 時】 2025年 **10**月**5**日(日)

【会 場】 **アルカス SASEBO 大ホール**

主 催：文化庁／厚生労働省／長崎県／

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会／

佐世保市／第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭佐世保市実行委員会／



主 管：日本太鼓財団長崎県支部／全九州太鼓連合

協 賛： Supported by  **THE NIPPON FOUNDATION**

※会場での写真撮影・録画は一切ご遠慮願います。



ご挨拶

文部科学大臣

あべ 俊子

第40回国民文化祭が、9月14日から11月30日までの78日間にわたり、長崎県内各地において盛大に開催されることとなりました。

国民文化祭は、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業などの各関連分野における施策と有機的に連携しつつ、地域の文化資源等の特色を生かした「文化の祭典」です。また、各種の文化活動を全国規模で発表、共演、交流する場を設けるとともに、それらの活動により生み出される様々な価値を文化の継承、発展及び創造に活用し、文化芸術の一層の振興に寄与するものとして、昭和61年から開催されて以来、今回で40回目を迎えます。

長崎県は、古くから日本の海外交流の窓口として、先進の文化と技術を受け入れ、日本の近代化に大きく貢献してきました。西洋と東洋が融合した独自の文化的景観や食文化、伝統芸能が脈々と受け継がれており、長崎の物語性を今日に伝えています。近年、長崎の歴史を象徴する遺産群が世界遺産に登録され、価値ある文化遺産を将来にわたり継承する取組が活発に行われています。また、令和7年は被爆80年の節目の年であり、本大会でも文化芸術を通して平和への願いを継承する事業が数多く予定されております。

本大会に参加される皆様には、長い交流の歴史が培った長崎県固有の文化を肌で感じていただき、本大会のキャッチフレーズである「文化をみんなに」のとおり、異なる文化や国籍、価値観をもつ人たちが一緒に文化芸術を楽しみ、交流を通じて生まれた文化の魅力と平和への願いを長崎から国内外に発信する大会となることを心から祈念しております。

また、本大会は、「ながさきピース文化祭2025」として、第25回全国障害者芸術・文化祭と一体的に開催されています。障害の有無に関わることなく、様々な交流を通じて、あらゆる人々が芸術文化に親しむことのできる共生社会の実現に寄与されることを大いに期待しております。

文部科学省においても、活力ある社会を形成するため、第2期文化芸術推進基本計画に基づき、日本遺産等の地域の文化資源を通じた文化観光の推進と地域文化の振興に取り組むことで、「文化芸術と経済の好循環」を加速し、文化芸術立国の実現に努めます。

結びに、開催に当たり格別の御尽力を頂きました長崎県、開催市町、文化団体をはじめ、関係する全ての皆様に深く感謝申し上げます。

太鼓の祭典



ご挨拶

厚生労働大臣

福岡 資 磨

「ながさきピース文化祭2025」の開催に当たり、主催者の一人として御挨拶を申し上げます。

長崎県で全国障害者芸術・文化祭が開催されるのは、平成19年度に次いで2度目であり、さらに今回は、「第40回国民文化祭」及び「第25回全国障害者芸術・文化祭」を一体的に開催できることを心より喜ばしく思います。

全国障害者芸術・文化祭は、障害のある方々が芸術文化活動を通じて自己を表現し、生活を豊かにするとともに、国民の障害への理解を深め、障害のある方々の自立と社会参加の促進に寄与することを目的としています。障害のある・ないに関わらず、すべての人がお互いを尊重しながら共生する社会の実現につながることを祈念しております。

本大会は、「文化をみんなに」をキャッチフレーズに掲げ、様々な心身の特性や考え方を持つすべての方が、「みんな」で楽しめるよう、豊かな自然や歴史情緒溢れ、平和を発信し続ける長崎県を舞台に開催される文化・芸術の祭典です。障害のある方々が手がけた作品を展示する作品展や、平和及びアートとのふれあいをテーマに障害のある人となない人が共に参加するワークショップ、詩や音楽を披露するコンサート等の舞台公演など、様々なイベントが開催されます。まさにキャッチフレーズのように、魅力ある作品に「みんな」で触れて「みんな」で楽しんでいただき、障害のある・ないを超えて人と人がつながる文化の祭りとなることを期待しております。

厚生労働省では、本大会と連携した「サテライト開催事業」により、全国各地で障害者による芸術・文化イベントの開催を予定しています。長崎県の芸術・文化の魅力为全国に伝え、障害のある方の芸術文化活動の振興を図ってまいります。

結びになりますが、「ながさきピース文化祭2025」の開催に当たり、格別の御尽力をいただきました長崎県、県内市町、文化団体、障害者関係団体をはじめ、関係する多くの皆様に深く感謝申し上げて、私からの挨拶といたします。



ご挨拶

長崎県知事

大石 賢 吾

「ながさきピース文化祭2025（「第40回国民文化祭」及び「第25回全国障害者芸術・文化祭」）」が9月14日から11月30日までの78日間、ここ長崎の地で開催できますことは誠に喜ばしいことであり、ご参加いただく皆様を心から歓迎いたします。

令和7年は、被爆から80年、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館開館20周年、中華人民共和国駐長崎総領事館開設40周年など本県にとって大きな節目の年であります。このような年に、本県初となる国民文化祭、今回で2度目となる全国障害者芸術・文化祭を開催することは、文化芸術の振興はもとより、平和の大切さや海外との交流の推進、共生社会の実現に繋がるものと考えております。

本県は、本土の最西端に位置し、大陸との長い交流の中で特色ある歴史・文化を育み、2つの世界文化遺産や4つの日本遺産のほか、多くの文化資源を有しております。本文化祭では、「文化をみんなに」のキャッチフレーズのもと、海外からの影響を色濃く受けた本県独自の文化や離島ならではの歴史、各地域で取り組まれている芸術活動など、魅力溢れる多種多様なプログラムを県内各地で開催いたします。

大会期間中は、長崎らしい文化・歴史・芸術をお楽しみいただくとともに、風光明媚な自然や情緒溢れる街並み、魚種日本一と言われる水産物や新鮮な農畜産物、ご当地グルメなど、県内各地に足を伸ばしていただき、本県の魅力をご堪能いただければ幸いです。

結びに、本県での開催に格別のご支援・ご協力をいただきました全ての関係者の皆様に心から感謝申し上げ、ご挨拶といたします。

太鼓の祭典



ご挨拶

佐世保市長

宮島大典

本日は、ながさきピース文化祭2025分野別交流事業『太鼓の祭典』が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

『太鼓の祭典』は、いわゆる文化の全国大会に当たる分野別交流事業として開催されており、ここ佐世保の地に全国から集結した熱い太鼓奏者の皆さんと共に、素晴らしい祭典が実現しましたことを、大変嬉しく思います。

太鼓は日本の歴史に深く根ざしており、神事や祭礼での役割から、芸能、そして舞台芸術へと変化してきた日本古来の文化の一つであります。

太鼓の演奏は、心身を統一し演者同士や聴衆と心を合わせて行うものであり、ながさきピース文化祭2025が掲げるキャッチフレーズである「文化をみんなに」をまさに体現したものであるとともに、その迫力ある音と振動で、文化祭全体を盛り上げていただけると確信しております。

ご来場の皆様におかれましては、多種多様な民俗芸能や伝統行事を紡いできた長崎県に育った太鼓の躍動と、全国各地から20を超える出演団体による勇壮な太鼓の響演をお楽しみいただければと思います。

また、会場には太鼓の体験コーナーも準備しており、歴史ある古来の楽器に触れることができる貴重な機会となっておりますので、あわせてお立ち寄りください。

本日のこの祭典が、ご参加の皆様の胸に響くものとなり、多くの人の思いと文化が交流する有意義な一日となることを祈念いたしまして、私の挨拶といたします。



ご挨拶

公益財団法人 日本太鼓財団
会 長

長 谷 川 義

このたび、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭、ながさきピース文化祭2025「太鼓の祭典」が、ここ長崎県佐世保市において盛大に開催できますことは誠に喜ばしいことであり、ご来場いただきました皆さまには心より歓迎申し上げます。

日本の太鼓は、太鼓に向かう真摯な態度や団体演奏に必要なチームワークの大切さから「礼と節」が備わることを評価され、青少年の健全育成に大きな効果をあげております。さらに全身を使ってリズムを刻む日本太鼓の演奏は、障害者の療育に効用があることが立証されており、健常者のみならず障害者の太鼓団体も増加しております。年齢層は幼年の子供から高齢者までと幅広く、女性の参加も増えていることから、太鼓愛好者はまさに老若男女に広がっています。

このように日本太鼓の人気の高まる中、本日は全国から様々な太鼓団体が一堂に会し「太鼓の祭典」が開催されることは誠に時宜を得たものであります。

来場されたお客様には、この機会を楽しみに今日まで練習を重ねてきました各団体の特色あふれる太鼓演奏を最後までごゆっくりとお楽しみいただきたいと存じます。また、太鼓体験コーナーがございますので、普段なかなか触れる機会のない方もこれを機にお試しいただき、日本太鼓に対するご理解を深めていただければ幸いです。

本祭典の開催にあたり、ご支援ご協力いただきました文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、佐世保市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭佐世保市実行委員会、そして当財団が多大なご支援をいただいております日本財団ならびにボートレース関係者、主管の日本太鼓財団長崎県支部、全九州太鼓連合の皆さまに心からお礼を申し上げます。

太鼓の祭典



ご挨拶

全九州太鼓連合
会 長

岩 切 邦 光

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭、ながさきピース文化祭2025「太鼓の祭典」が、長崎県佐世保市において開催されますことを心より嬉しく、また楽しみに思っております。

九州は、全国に先がけて7県の支部が一つのブロックとなり、全九州太鼓連合として多くの事業を展開しております。九州各地において、全九州・日本太鼓ジュニアコンクール、全国講習会、支部講習会等の事業を開催することにより、会員の意識とスキルの向上に繋がり、今ではどの支部においてもこのような事業に対応できる組織にまで成長いたしました。

今回の「太鼓の祭典」につきましても、開催地の長崎県支部を中心に九州各県支部からスタッフが集まって運営がなされています。「九州はひとつ」を合言葉に30年以上活動を行っていることもあり、自然なかたちでスタッフも集まり動いています。全国から出演される団体の皆さま、そしてご観覧になるお客様に心から楽しんでいただけるよう、全九州太鼓連合一丸となっておもてなしさせていただきます。

さて、和太鼓には、古くから継承されている伝統的な太鼓と新しく結成され独自のスタイルで演奏する創作太鼓があります。伝統的な太鼓には、その地域の歴史的背景やリズムなどに意味があり、とても奥深く代々受け継がれてきたものです。また、創作太鼓は、音楽的なリズムや打法・演出など自由で多彩な表現によって観る者を楽しませてくれます。今回も、全国各地から特色のある素晴らしい団体が出演します。これだけの演奏を一度に観ることができる機会というのは、なかなかありませんので、この機会に思う存分堪能していただければと思います。

本日の開催にあたり、ご支援を頂きました文化庁、厚生労働省、長崎県、佐世保市、そして公益財団法人日本太鼓財団、さらには各実行委員会の皆様に対しまして、心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、遠く九州の地にご参集し出演をいただく皆様方に対して、心より感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

日本太鼓財団長崎県支部
支部長

田中俊亮

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭、ながさきピース文化祭2025「太鼓の祭典」が、ここアルカス SASEBO にて開催されるにあたり、日本太鼓財団長崎県支部、また長崎県太鼓連合を代表し心から歓迎を申し上げます。

今回は、日本各地より和太鼓チームが集結しており、伝統や創作太鼓など様々な演奏を耳で、目で、そして身体で楽しんでいただける内容となっております。このように全国各地より太鼓団体が集結するのは長崎県では、今回が初！ではないでしょうか。

また、長崎県太鼓連合といたしましても今回オープニング演奏を務めさせていただきます。加盟団体の子供たちを中心とした総勢45名での演奏もぜひご覧ください。

さて、太鼓は古来より地域のお祭や神社仏閣で演奏されるように日本人にとっては必要不可欠な楽器、そして伝統文化です。様々な歴史や地域文化と共に育まれた「太鼓」は、躍動感溢れる鼓動で、観る人を魅了してきました。ご来場の皆さまには、地元長崎県をはじめ、各地の勇壮な太鼓の競演をご堪能ください。そして、長崎県には、自然、食、歴史、他県にも負けず劣らずの文化があります。この機会に、1つでも良いので触れていただき、長崎県の魅力を感じていただければと思います。また、ご出演者の皆さまにおかれましては、他県の団体と交流の輪を広げていただき、ご安全に帰路に着かれようお願い申し上げます。

結びに、開催にあたりご尽力いただきました関係各位の皆さま、また大会運営にご協力いただいたスタッフの皆さまに厚く御礼申し上げますとともに、本日ご出演の皆さま並びに関係者の皆さまの益々のご活躍をご祈念申し上げ、挨拶いたします。

太鼓の祭典

第40回国民文化祭第25回全国障害者芸術・文化祭
ながさきピース文化祭2025

「太鼓の祭典」 プログラム

“Stream Country Nagasaki”cultural festival 2025
The 40th National cultural festival, the 25th National Art of
Persons with Disabilities, cultural festival
“Taiko Festival”

オープニング

日本太鼓財団長崎県支部合同チーム 長崎県 11
Nippon Taiko Foundation Nagasaki Chapter Joint Team from Nagasaki

【主催者挨拶】

佐世保市長 宮島 大典
公益財団法人 日本太鼓財団 会長 長谷川 義
全九州太鼓連合 会長 岩切 邦光
日本太鼓財団長崎県支部 支部長 田中 俊亮

第一部

1. 五蔵太鼓社中 長崎県 11
Gozo Taiko Shachu Team from Nagasaki
2. 御璃刃 三重県 12
Orijin from Mie
3. 打吹童子ばやしグループ 和太鼓 LEGEN 童 鳥取県 12
Utsubuki Doji Hayashi and Wadaiko Legend from Tottori
4. 東京都立篠崎高等学校 和太鼓部 和桜乱舞 東京都 13
Shinozaki High School Taiko Club Wazakuraranbu from Tokyo
5. 皆瀬太鼓 長崎県 13
Kaize Taiko from Nagasaki
6. 広島県立黒瀬高等学校和太鼓部 養訓太鼓 広島県 14
Kurose Senior High School Taiko Club Yanaguni Taiko from Hiroshima

7. 世界龍馬楽校 World Ryoma Gakko from Nagasaki	長崎県	14
8. 三原和太鼓教室～空組～ Mihara Taiko Class “Soragumi” from Hiroshima	広島県	15
9. 諫早天満太鼓 Isahaya Tenman Taiko from Nagasaki	長崎県	15
10. 和太鼓たぎり Wadaiko Tagiri from Fukuoka	福岡県	16

第二部

11. 東京都立美原高等学校 和太鼓部「和心響華」 Mihara High School Taiko Club “Washinkyoka” from Tokyo	東京都	17
12. 肥前福島玄蕃太鼓の会 Hizen Fukushima Genba Taiko from Nagasaki	長崎県	17
13. 逢鷺太鼓連 Oshu Taiko from Tottori	鳥取県	18
14. 長崎県立北松農業高等学校 権現太鼓部 Hokusho Agricultural High School Gongen Taiko from Nagasaki	長崎県	18
15. 倉吉打吹太鼓 Kurayoshi Utsubuki Taiko from Tottori	鳥取県	19
16. させぼ卸団地太鼓錬成会 Sasebo Oroshidanchi Taiko Renseikai from Nagasaki	長崎県	19
17. 鼓國雷響 JAPAN Kokoku Raikyo JAPAN from Gifu	岐阜県	20
18. 鹿山雷神太鼓 Sikayama Raijin Taiko from Nagasaki	長崎県	20
19. 志賀豊年力太鼓保存会 Shika Honen Riki Taiko from Ishikawa	石川県	21
20. 大和太鼓保存会 Yamato Taiko from Saga	佐賀県	21

太鼓の祭典

第三部

ゲスト団体 (Guest Teams)

- | | | |
|---|-----|----|
| 21. 橋太鼓「響座」ジュニア
Tachibana Taiko “Hibikiza” Junior Team from Miyazaki | 宮崎県 | 22 |
| 22. ふじた傳三郎太鼓
Fujita Denzaburo Taiko from Okayama | 岡山県 | 22 |
| 23. 和太鼓会 和光太鼓
Wadaikokai Wako Taiko from Tokyo | 東京都 | 23 |
| 24. 和太鼓集団 響屋
Otoya from Kagawa | 香川県 | 23 |
| 25. 豊の国ゆふいん源流太鼓
Yufuin Genryu Taiko from Oita | 大分県 | 24 |

太鼓体験コーナー

場 所：舞台上

時 間：第1部終了後の休憩時間（日本太鼓財団長崎県支部）

ご来場のお客様へ

- 演奏中の客席への出入りは、お静かにお願いします。
- 客席は、照明が暗くなっておりますので、移動の際はお気を付けください。
- 客席での写真撮影や動画撮影はできません。
- 客席でのご飲食はできません。
- 携帯電話は、マナーモード設定にするなどのご配慮をお願いします。
- 貴重品等は、ご自身での管理をお願いします。

にっ ぽん たい こ ざい だん なが さき けん し ぶ ごう どう
日本太鼓財団長崎県支部 合同チーム 長崎県



演奏曲

いま
今

代表者：田中 俊亮

高増 暖人	平片 梨風	山田 楽	月来
小西 翼	山口 十角	北原 優衣	美華
北原 芽衣	田中 永松	宮田 心都	小稀
宮田 貞清	松永 結衣	田中 希	月香
山下 魁斗	中嶋 百叶	架恋 和也	依葉
岡田 寛菜	中尾 松尾	祐太 山田	陽孝
中島 奏和	浦上 咲夏	長與 山田	太一
松尾 舞羽	谷口 航聖	松尾 古賀	匠也
松尾 文香	北島 聖葉	山田 三枝	英菜
中尾 輝世	三枝 穂香	古賀 想	々珠
三枝 井上	古賀 桜花	三枝 本多	想代
立山 里彩	山田 鳥居	本多 咲奈	陸人
鳥居			はな
			陸

私たち日本太鼓財団長崎県支部は、1997年に発足いたしました。現在加盟団体9団体で活動しています。今回の合同チームは支部に所属する各団体よりジュニア世代を中心に構成された国民文化祭のためのオリジナルチームです。

演奏曲の「今」は、その時その時の変わりゆく時代背景をイメージした曲で、時代や年代が変われば曲も変わる、子どもから大人まで誰もが打てるそんな一曲です。最初は全員での一発から始まり、締太鼓がベースを取り、息の合った長胴太鼓、大太鼓の演奏と流れ、締太鼓全員でのソロパート、長胴太鼓、大太鼓のソロと続き、最後は全員での打ち込みで終わります。

長崎県の若きジュニアの息の合った演奏にご注目ください。

ご ぞう だい こ しゃ ちゅう
1 五蔵太鼓社中

長崎県



演奏曲

かんのさま
観音様

代表者：福田 省吾

大瀬 一徳／麻生 直
 森 裕太郎／横田 壮弥
 Jordan Beeston

佐世保市吉井町の霊山五蔵岳の山懐には吉田大明神社叢があり、麓に点在する集落に、古き伝統を守り継ぐ収穫儀礼の素朴な祭りが村人の手により伝承され、毎年定められた月日に平戸神楽の神事にて奉納されてきました。1985年秋、この山の名にちなんで五蔵太鼓社中と命名し、活動を開始しました。

御本尊11面観音菩薩の慈悲深さに心ゆだね、境内の風雅な庭園の奥に、天然の大石橋が浮き橋のように架かる実に神秘的な光景を「観音様」という曲として表現しています。

尺八の独創的な曲の流れに、大太鼓の単調なリズムが歩み寄り、プロローグは始まり、締太鼓のベースリズムに合わせて、大太鼓と桶胴太鼓との中盤の掛け合いが見せ場となります。また、篠笛のメロディラインに合わせてのエピローグは圧巻です。

2 おりじん 御璃刃



三重県

演奏曲

やぶさめ
流鏑馬

代表者：神谷 敏志

中西隆一郎／鈴木 貴博
庄子 和彦／岩本 拓真

高校時代の同級生を中心に構成されたチームです。高校の文化祭をきっかけに太鼓同好会を設立し、翌年、太鼓部として活動を開始しました。卒業後、2006年から社会人チームとして活動を継続しています。

「流鏑馬」は人馬一体となつて的を射抜く、そのような緊張感のある曲が演奏できればと思い、作曲を行いました。曲名にある鏑は古来より、邪気を鎮める意味で使われ、「転禍招福」が皆様に届くよう祈念しております。

複数の太鼓を中心の演奏者が一人で使用し、前半と後半で主に使用する太鼓が変化します。前半部分は締め太鼓を中心とした軽快なフレーズで疾走感を表現しています。後半部分は長胴太鼓を中心としたフレーズに変わります。各パートの異なった表現をお楽しみください。

3 うつぶきどうじ わだいこれじえんどう 打吹童子ばやしグループ 和太鼓LEGEN童 鳥取県



演奏曲

こだまぐみきょく
鼓魂組曲

代表者：村田 速実

牧田 真旺	石川 晶大
恩田 優珠羽	仲田 悠汰
澤村 若菜	松原 蓮奈
西谷 梨世	新田 結恋
森田 楓花	岩山 華音
井上 心日	柏村 華凜
澤村 楓	清永 結音
澤村 日菜	佐々木 詩
脇坂 大星	松原 由芽
柏村 陽向	熊田 唯織
中山 紗穂	中江 杏奈
中田 季助	

倉吉に伝わる「天女を想い二人の童子が太鼓と笛を奏でた」とされる打吹天女伝説を伝承するために子どもに笛・太鼓で伝えていこうと1992年7月8日に地域の方々に支えられ、小学生和太鼓連として誕生しました。地域の夏祭りから海外公演まで豊富な演奏経験があり、毎年3月には、地元の文化ホールで自主演奏会も行ってます。また、2013年には中高生を中心とした和太鼓 LEGEN 童が新たにスタートしました。

本日の演奏曲は、地域の伝説や元気をテーマにしたオリジナル曲「みつほしの夜に」、「満正寺の龍」「夢童子～望郷」等を組曲したものです。倉吉の夏祭り「打吹まつり」の初日を盛り上げる「祭囃子」のパートではご来場の皆様も手拍子で盛り上がってください。

4

とうきょう と りつしのぎこうとうがっこう わ だい こ ぶ わ ざくらん ぶ
東京都立篠崎高等学校 和太鼓部 和桜乱舞 東京都



演奏曲
ひ み こ
HIMIKO

代表者：山本 剛

荒井 真衣／中館 美空
福田 羅奈／田中 結愛
佐伯 凛／横山 勉
本間 樹璃／平田友梨奈
渡辺くるみ／向田 幸来
堀口 愛月／君島 颯馬
阿曾 慧人

東京都立篠崎高等学校和太鼓部【和桜乱舞】は、新たな指導者と新顧問の指導のもと、全国大会を目指す部活として2022年に新たにスタートしました。名前の由来は「和」（音の調和）、「桜」（学校のシンボル）、「乱舞」（桜の花びらの舞いや激しく演奏する姿）です。

今回演奏する曲は、卑弥子をテーマに時代の先導者とその後の発展を描いています。曲は地打ちのない揃え打ちから時代の幕開けを表現し、様々な打法の太鼓が重なり合うアンサンブルから、最後に激しい打ち込みで時代の移り変わりを表現します。

特に注目すべきは、パートが違うフレーズを打ちつつも絡み合うアンサンブルと、それぞれの特徴を生かしたソロパート、移り変わる表情、こだわりの衣装にもご注目ください。

5

かい ぜ たい こ
皆瀬太鼓

長崎県



演奏曲
ほうねんまつり だい こ かいふうとう か
豊年祭り太鼓／海風島夏

出演者 15 名

大切な文化を残したいとの思いから、1993年に地域の有志が集まり設立しました。幼児から高齢者まで、時には米軍基地職員の家族も一緒に、古き良き音を守りながら、楽しく活動が続けています。

1曲目の「豊年祭り太鼓」は地元の祭りを告げる高揚感と太鼓の音を通じて地域の人々の心をつなぐ絆をテーマにしました。また、豊作への願いも込めています。子供たちの掛け声や笑い声。楽しみながら演奏しているところをご覧ください。

2曲目の「海風島夏」は地元佐世保の九十九島の海風や島々をイメージしています。短縮構成のため、物足りないところもあるかと思いますが、勇壮な打ち込みをご覧ください。

6

ひろしまけんりつくる せ こうとうがっこう わ だい こ ぶ やなぐにだい こ

広島県立黒瀬高等学校和太鼓部 養訓太鼓 広島県



演奏曲

いき
粹

代表者：藤原 康行

坂根 貫太／佐々木正樹

椎葉 奏牙／鶴原 隼

大友 琉暉／下村向日葵

菅 綾香／園田 陽大

広島県立黒瀬高等学校和太鼓部 養訓太鼓は、2000年に設立され、現在、部員9名で活動しています。校内の行事や地域のイベントやお祭り、福祉施設などで演奏しており、過去には2度、全国高等学校総合文化祭にも出場しています。昨年10月に行われた「けんみん文化祭ひろしま'24」一般の部で、念願の最優秀賞を受賞させていただきました。

今回の演奏曲は和太鼓の曲としては珍しく、3/4拍子を基調として展開していく曲で、大太鼓、宮太鼓、締太鼓、桶太鼓、笛や鉦も加わり、彩豊かに演奏します。

また、それぞれの楽器の見せ場があり、江戸の火消しの心意気を表現していますので、ぜひご注目ください。

7

せ かい りょう ま がっ こう

世界龍馬楽校

長崎県



演奏曲

なが さき りょう ま だい こ
長崎龍馬太鼓

代表者：柴崎 賀広

戸松美貴博

世界龍馬楽校の主宰柴崎賀広は、福岡県小倉に生まれ、物心ついた頃から父を師匠に、町内の小倉祇園太鼓を始めました。19歳で長崎に転居、坂本龍馬が活動拠点にした長崎に来て龍馬が好きになり、龍馬之銅像建立や史跡ガイド活動を行うと共に、祇園太鼓を「長崎龍馬太鼓」と銘打って叩くようになりました。父が考案した小倉祇園太鼓を一人打ちにアレンジした「カンドロ」という打ち方を基本にジャズ的な奏法による創作太鼓として演奏しています。

今回は、坂本龍馬の誕生から維新活動そして昇天までの劇的な一生を、太鼓の鼓動で表現します。

世界的な肉態表現家「戸松美 貴博」氏との【肉態太鼓DUO】による即興セッションにも注目して下さい。

8

三原和太鼓教室～空組～ 広島県



演奏曲

いっしん
一心

代表者：中野 歩

前田 瑛登／矢原 詩弓
和氣 奏汰／矢原 匠
和氣はづき／大井 柊歩
荒谷 和来／熊野 希映
飯田 李玖／田房 華帆
小澤朔太郎

三原和太鼓教室は、2018年に広島県三原市で代表の中野歩が立ち上げ、日々の稽古や練習を積み、地元三原の行事に積極的に参加し、三原の地域貢献に繋げることを目標に活動しています。

演奏曲「一心」は、その名の通り、心を一つに演奏することをテーマにしています。凛々しく打つ、たくましく打つ、静かに打つ、様々な心情をこの曲で表現します。締太鼓との掛け合いから始まり、全員での揃い打ち、その後に各パートのソロフレーズがあります。最後には全身の力を込め、迫力ある音に揃えていきます。

小中学生で構成されたメンバーが「元気に！楽しく！」を曲全体を通して演奏します。

9

諫早天満太鼓 長崎県



演奏曲

あまね
天音

代表者：古賀 靖治

北島 航聖／鳥居 咲奈
古賀 睦人／山田 想楽
立山 桜花／三枝 輝世
三枝 想代／本多 はな
古賀 聖葉／三枝 茉代
本多 陸／古賀 菜々珠
井上 穂香／鳥居 里彩

諫早天満太鼓は、長崎県諫早市天満町の天満町自治会の支援のもと、1990年に設立しました。

演奏曲「天音」は、天満太鼓のメンバーが1つとなり、心をこめ、天まで音を届けることをイメージした曲です。曲の流れは、ゆっくりなテンポからテンポアップし、大きい音小さい音を出します。最後は力強く終わる曲です。

曲の中で特に注目してほしい部分は、拍子木やドラなどを効果的に使う点と、ダブルストロークを多く使う曲なので、小さい子供たちのダブルストロークにぜひご注目ください。

10 わ だい こ 和太鼓たぎり

福岡県



演奏曲

まつり
MATSURI

代表者：植田 美紀

植田晃太郎／松田 梨花

岩崎 愛也／長副祭之路

長副 萌／岩崎 聖羅

黒土 陸斗／中山 愛咲

和太鼓たぎりは、泉湧く^{たぎり}泌泉^{つば}の里 糸田町に地域の伝統文化の伝承及び普及、地域の活性化を願い結成されました。糸田町には名前の由来となる「泌泉^{つば}の坪^{せいのひら}」があり歴史的にも豊日別命や神功皇后などにまつわる伝説が今も数多く残っています。和太鼓たぎりとはこの泌泉^{つば}の坪^{せいのひら}から脈々と湧き出る清らかで且つ勢いに満ち溢れる水源のようにありたいと願い命名いたしました。

演奏曲の「MATSURI」は、地元の祭をイメージし、聞いている方も演奏者も楽しく、元気になるような曲調です。この「太鼓の祭典」というお祭りを皆さまと一緒に盛り上げていきます！



11

とうきょう とりつ み はらこうとうがっこう わ だい こ ぶ
東京都立美原高等学校和太鼓部

わ しんきょう か
和心響華 東京都



演奏曲

きらめき

燦

代表者：柴原 桂

小澤	泰登／佐藤	千颯
中嶋	大和／江黑	日菜
東畑	美憂／源田	心寧
皆川	有気／三浦	凜
秦野	功志／西條	星夏
佐藤	蓮／中村	桃
松元	武蔵／金子	快舟
山口	惺也	

東京都立美原高等学校和太鼓部 和心響華は、創部21年目「人の心に響く愛情のある演奏」を掲げ、仲間たちと切磋琢磨し日々練習に励んでいます。

演奏曲は「燦」は、演奏者一人一人が輝き、太鼓一つ一つの個性を引き出し、お客様一人一人に楽しんでいただくことをテーマにしています。

冒頭は太太鼓の重厚な音と長胴太鼓のフリが合わさって深海のような独特の雰囲気が始まり、その後はうってかわって明るくノリのいいテンポで進行していきます。また、演奏中盤では様々な表情をみせる各太鼓の演奏、そして最後の全力を振り絞った勢いのある演奏で締めくくり、和太鼓の魅力を存分に堪能できる舞台をお届けします。

演奏者の個性を束ね、磨き上げて作り上げた、燦く旋律をぜひお楽しみください。

12

ひ ぜん ふくしま げん ば だい こ かい
肥前福島玄蕃太鼓の会 長崎県



演奏曲

ひ じん たい こ
飛神太鼓

代表者：反田 隆二

本川	浩二／吉永	浩幸
川村	康／紙本	宏幸
香川	しのぶ／香川	蘭子
藤田	哲夫／児玉	康子
金子	香織／丸尾	敏幸

1987年に地元福島町の地域おこしのため、新しい郷土芸能を創作する目的で設立されました。地元教育委員会や地域皆様からの支援を受けながら、佐賀県の伊万里太鼓の指導と楽曲の提供を受け、これを大事に引き継いでいます。

演奏曲の「飛神太鼓」は、地元福島町の総氏神である今山神社の縁起をモチーフに、祭神が御社に飛来して鎮座される様を表しています。地域の雨乞い神事であり、無形文化財である浮立の鉦を取り入れた編成となっています。銅鑼の音から大太鼓のソロに続き、郷土芸能である浮立の鉦を打ち鳴らしながらの揃い打ち、徐々にテンポアップしていき、エンディングを迎えます。

浮立の鉦を取り入れた楽曲はめずらしく、荘厳な鉦の音と太鼓のハーモニーにご注目下さい。

13 逢鷺太鼓連

鳥取県



演奏曲

いにしえの風

代表者：三澤 立

田中 武／近藤 祥
伊藤 浩二／山本菜津子
細谷 慶介／田村 幸右
山本 夕貴／蔵重 祥代
小倉 慎一／久野由紀子
八田 恵美／神谷千代美
細川 輝幸／他出演者1名

逢鷺太鼓連は、南側に鷺が翼を広げたような形をしている鷺峰山、北側に日本海を望む、因幡の国は逢坂の地に住まう有志により、1987年12月に結成され今年で39年目を迎えます。

私たちの故郷、因幡の国で繰り広げられた様々な物語を、この地の風土良民を体現する手段として作調された曲です。団体結成以来、連綿と叩き継がれてきた曲で、過去より現在の演奏が最高のパフォーマンスとなるよう世代を跨ぐメンバーが心を込めて叩きます。

伝統的な盆踊りのフレーズも取り込み、3章からなる楽曲として表現しています。

第2章でのゆったりした笛の音、また第3章での対照的なスピード、それに加え、やぐら太鼓と据え置き太鼓を交互に打ち鳴らす動きにご注目ください。

14 長崎県立北松農業高等学校 権現太鼓部

長崎県



演奏曲

KAIKYO

代表者：亀山 大輔

松山 凌輔／森 愛咲
日高 葵愛／津上 るか
村井 心美／松尾香桜里
山野 琉菜／西屋 乃輝

昔、地区内で流行した病や飢餓を抑えるために、長崎県平戸市田平町にある熊野神社は、和太鼓を奉納したといわれています。この地区が受け継いだ太鼓を、長崎県立北松農業高等学校でも交流があったため、権現太鼓部として活動しています。

演奏曲の「KAIKYO」は、大海原を渡って島々にやってくる七福神の宝船に人々が喜ぶ様子を想い描いた曲です。序盤の静かな流れから、各種太鼓が揃い音を奏でます。中盤は桶太鼓を中心に締め太鼓、長胴太鼓が入り、終盤のまとめた演奏へとつながり全員で揃った終わりを迎えます。終盤にある大太鼓からの桶ソロに注目ください。

15 倉吉打吹太鼓

鳥取県



演奏曲

ふう だ すいりゅう いっしょう
風打吹流 一章

代表者：門脇 宏司

赤崎 彰／山田くるみ
池田 愛花／山根 則子
石川 佳恵／内海 洋介
日置麻衣里／門脇こころ
仲村 敦司／山口 隆之

倉吉打吹太鼓は、倉吉市を太鼓で活性化しようと1989年に結成しました。和太鼓の第一人者である「林英哲」氏や「竹井誠」氏の指導のもと猛練習を重ね、1990年に初舞台を踏み、以来、県内外や海外でも演奏を行っています。

演奏曲の「風打吹流 一章」は倉吉市のシンボル「打吹山」に伝わる打吹天女伝説をテーマに、「風打吹流」という曲名は、風に流れる羽衣の姿と、「打吹」の名を組み合わせた林英哲先生の造語です。大太鼓は男で村・社会を、中太鼓・締太鼓は子どもたち、桶胴太鼓が女たち、双盤は天界や祝祭禮、そして笛は天女をあらわしています。

大太鼓、篠笛のイントロ、桶胴太鼓パートの下手・上手の掛け合い、3種の太鼓と篠笛の前後の掛け合い、終盤の締太鼓の盛り上がりは聞きごたえがあります。

16 させば卸団地太鼓錬成会

長崎県



演奏曲

く じゅう く しま ひび
九十九島の響き

代表者：村田 征二

土橋 慎司／川島 煌愛
山城 賢／川島 遥愛
松尾 寿子／熊谷 權
小村 拓也／晦日 琉太郎
石橋二美子／宮田 一楓
宮原 佳子／山城 太鳳
于 成華／佐藤 桜虎
内野 楓／小村 健翔
内野 颯

させば卸団地太鼓錬成会は、佐世保市最大の卸商社が結集する卸団地では日頃市民の方と交流がないため、和太鼓を通して交流を深めようとの声があがり1974年10月に立ち上げました。

演奏曲の「九十九島の響き」は、九十九島の美し島々を表現、郷土の風物をイメージした曲です。佐世保の観光スポット九十九島は女性の美しさを表す南九十九島、男らしさを持つ北九十九島があり、それぞれを打ち方により女性的なしなやかさ、華やかさを表現し、男性的な力強さを表現した創作太鼓です。

17 鼓國雷響 JAPAN

岐阜県



演奏曲

清流の国ぎふ「四季」／長良川鵜飼「篝火」

代表者：若山 雷門

堀 雷道／清水 美月
西脇 雷志／高木 楓雅
臼井 雷櫻／鈴木 海結
水野 美幸／宮ノ腰眞愛
留田ますゑ／大塚 優亜
小島 春花／豊吉 愛梨
鈴木 千景／森田 葵衣
塗壁 容子／田垣 芹菜

「鼓國雷響 JAPAN」は1977年「日本太鼓集団 鼓國雷響プロジェクト」の本部チームとして発足、中部圏を基点に国内外で演奏活動を展開しています。この素晴らしい日本の四季や祭りを題材に作調、日本太鼓の勇壮豪快な響きを国内外で演奏しています。

「清流の国ぎふ 四季」は「飛騨は山の国 美濃は水の国」をモチーフに、夏・秋・冬・春の四季の趣や彩を添えて勇壮豪快に打ち鳴らします。

「長良川鵜飼 篝火」は、漆黒の闇の中に赤々と燃える篝火を川面に映し、鵜匠と鵜が一体となって繰り広げる古典漁法の鵜飼の情景が思い浮かぶ曲です。曲の終盤、鵜飼舟が横一線に並び、一斉に鮎を追い込む「総がらみ」を迎えます。川面を焦がす篝火に似せた紅い房のバチが情感を誘い、観客を魅了します。

18 鹿山雷神太鼓

長崎県



演奏曲

壺雷槌／雷明

代表者：松尾 和也

松尾信之介／谷口 舞羽
中尾 祐太／山田 太一
山田 英茉／松尾 羽暖
浦上 咲夏／松尾 匠也
松尾 奏和／松尾 風佳
長與 陽孝／中尾 文香

鹿山雷神太鼓は、1994年地元の地域おこしと活性化・青少年健全育成などを目的に、多くの住民の支援を受け結成されました。現在は、小中高生を中心としたチームに育ち、2023年10月には「長崎県地域文化章」を授賞するなど、結成以来30年の時を経て、町内外へも広く知られるようになってきました。

1曲目の「壺雷槌」は、雷のいきおいを表現しています。2曲目の「雷明」はジュニアコンクールのために作曲した曲で雷の表情を表現しています。2曲共に雷をイメージし、荒々しさ、静けさを太鼓や打ち手の表情に表しているところに注目ください。

19 志賀豊年力太鼓保存会 石川県



演奏曲

ほうねんりきだいこ
豊年力太鼓

代表者：篠原 裕幸

谷内 重幸／濱田 弘樹
中泉 貴臣／堤谷 聖毅
河野 利明／谷内 隆太
山本 桂嗣

1974年に設立、太古の昔、西能登百浦の地に、筑前の国志賀の島から安曇族が何隻もの舟に乗って漂流してきました。彼らは無事を喜び遠く離れた故郷を偲び、太鼓を打ち鳴らしたのが由来です。

最初に「祈」と呼ばれる曲で、大地の静と動を表現させます。その後は能登・志賀に古くから受け継がれる2人の相打ちがあります。そして、全員がさまざまな掛け合いと表現力を生む創作のリズム、最後の締めは「まわり打ち」という伝統と創作を交えた演目で終了です。

能登を元気にしたい！そして私たちが太鼓を打つことで、県内外の方々に感動を与えるため、一打一打に心を打つ太鼓を目指して日々打っています。メンバー一人一人の勇壮な姿をぜひご覧ください！

20 大和太鼓保存会 佐賀県



演奏曲

さと
里

代表者：野方 嘉孝

西 紗妃／今泉 宗也
菊池 輝／天野 なつ
今泉 諒大／天野 あい
藤田 雅章／多田 奏
天野さくら

大和太鼓保存会は、1989年に大和町の街おこし事業の一環として結成されました。代々受け継がれる郷土芸能として地域の祭りを中心に活動しており、子供たちの健全育成を目的に活動しています。

演奏曲の「里」は、大和町の風景、地景とふるさとの情景を表現しています。山間を流れる川が地域の生活の川であり、昔から人々は生活の川として育んできました。小さい音は川の水が石にあたって砕けっ散っていく状況を、またゆっくりした音は川の流れのゆるやかな感じや子供たちの声がとどく様子を表現しています。

やぐら太鼓の音と振りで山間の深い地形を表現している様子にご注目ください。

21

たちばな たい こ

ひびき ざ

橘太鼓「響座」ジュニア

ゲスト団体

宮崎県



演奏曲

ち だきょうてん ぶろていあん
地打響天 / Protean

代表者：岩切 めぐみ

吉村 絆 / 小田 弘翔
濱田琉貴亜 / 大隈 美心
門口 詞也 / 二見 莉旺
大隈 瑠貴 / 森田 大翔
永山 勇太 / 山並 千朗
二見 彩音 / 川畑 侑誠
大西 凜音

橘太鼓「響座」ジュニアは、神話の里である宮崎県宮崎市に拠点を置き活動続ける橘太鼓「響座」のジュニアチームとして2005年に結成しました。太鼓道を通じ、礼節を重んじ、日本の和の心を大切に日々練習に励んでいます。

今回演奏する「Protean」は、「変幻自在」という意味で、曲の流れがいろいろな形に変化する、多彩な表現が楽しい演目です。従来の和太鼓の曲の流れにとらわれず、自由な発想を取り入れた構成が特徴で、変化し続けるリズムと響きの調和が聴きどころになります。一打一打魂を込めて演奏いたしますので、新しい和太鼓の響きを曲のアンサンブルに注目してぜひご覧ください。

橘太鼓「響座」ジュニアは、2025年3月23日に大分県大分市で開催された「第27回日本太鼓ジュニアコンクール」で、6回目の優勝に輝き、内閣総理大臣賞を受賞されました。

22

でん ざ ぶ ろ う だ い こ

ふじた傳三郎太鼓

ゲスト団体

岡山県



演奏曲

あかつき しゅら
暁 / 修羅

代表者：河原 寛

藤丸真由美 / 中村 天音
藤丸智輝世 / 道廣 歩
松本 晃典 / 久保 佑太

「ふじた傳三郎太鼓」は、1995年に発足し、今年で結成30年を迎えました。岡山市藤田地区は、岡山県南部で藤田傳三郎翁率いる「藤田組」による児島湾干拓の偉業を後世の人々に伝える事を目的に発足しました。「開拓の歴史と先人の魂を未来につなげて」を胸に刻み楽しく力強く太鼓を演奏しています。

1曲目の「暁」は、日本太鼓財団岡山県支部の合同曲です。夜明けに差す太陽をイメージして、新しいリズムを主とし、締太鼓から始まり、大太鼓、長胴太鼓で掛け合い力強くリズムカルに盛り上がっていきます。

2曲目の「修羅」は、阿修羅の姿を3つのパートで表現し、帝釈天との激しい戦いの後、仏教に取り込まれ守護神の石柱へと変化していく物語を表現しました。大太鼓から始まり、締太鼓と桶太鼓のセットと長胴太鼓の掛け合い、笛を加えてエンディングを迎えていきます。ぜひお聴きください。

23

和太鼓会 和光太鼓

ゲスト団体
東京都



演奏曲

に だん まい
二段舞

代表者：田中 泰秀

福岡 英子／中俣 俊宏
石田 千夏／平子 朱音
松島 海咲／義岡 詠梨
義岡 紅葉／安齋 希美
松島 海莉

和太鼓会 和光太鼓は1974年に、埼玉県和光市内及び近郊の盆踊りや祭りイベント、和太鼓を使った創作音楽の演奏活動を中心に行う会として発足いたしました。

演奏曲の「二段舞」は、助六太鼓を学んだ会長 田中泰秀が「原曲：二段打ち（助六太鼓初代）」を和光太鼓流にアレンジした曲です。二拍子に乗せ日本舞踊のような動きをダイナミックに大小の太鼓の真ん中で打ち込み、最初はスローテンポから徐々にスピードアップしていく、その段階段階、打ち手の個性、アドリブがあり、ノリの良い曲です。

打ち手が息を合わせ舞い踊るかのように太鼓の周りを打ちながら回り、飛ぶ姿にご注目ください。お客様から見る形もビートも最高です。

24

和太鼓集団 響屋

ゲスト団体
香川県



演奏曲

てん き
あした天気になあれ

代表者：詫間 浩二

川江 秀樹／白井 健吾
川江 遼太／南 隆之
石井 脩都／原田 大嗣
西田 幸都／原 美紗稀
原田 友葵／黒木 遥名
大平 莉世

和太鼓集団響屋は三豊市高瀬町内外の和太鼓を愛する者たちが寄り集い、2000年11月に活動をスタートしました。

演奏曲の「あした天気になあれ」は、2011年3月、東北地方太平洋沖地震による混乱と暗く沈んだ日々の中、私たち太鼓打ちにできることはないか、と新たに編成した曲です。以降、幾度となく演奏を重ね、今では私たちの代表曲となりました。

聞いて見て楽しさが伝わるよう、曲初から軽快なテンポで元気いっぱいにリズムを刻みます。後半に出てくるパーランクの踊り、メンバーの笑顔、打ち続けてきたことによる曲の一体感など、見どころの多い曲になっています。

明日はきっと晴れになる、あした天気になあれ！演奏を聞いた後も、気持ちよさが続く曲です。

25

とよ

くに

げんりゅうたい こ

ゲスト団体

豊の国ゆふいん源流太鼓

大分県



演奏曲

ゆふ げんきょう こうじょう つき
由布おろし / 源響 / 荒城の月

代表者：長谷川 準

長谷川 義 / 富永 希一

恵藤 良太 / 阿南 晴大

藤田 桜 / 溝口 翔太

長谷川義氏を中心に1979年に発足しました。派手なパフォーマンスは一切なく、ただひたすら打ち抜くスタイルを結成以来、守り続けています。その根本は、由布の町を見下ろす峠の空き地での、毎夜毎夜の練習にあり、それは現在まで続けられています。

そこから生み出された打法とリズムは現在の創作太鼓の「源流」となっていて、ノンプロ創作太鼓チームの頂点と言えます。メンバーはそれぞれ本業や学業を持ちつつ鍛錬を重ね、国内外を問わず和太鼓の浸透と発展に努めています。

「天に碧空、地に源流」。

豊の国ゆふいん源流太鼓は大分県由布市の無形文化財に指定されています。



2025年度の主な事業活動予定

■ 大阪・関西万博 1000 人太鼓(日本太鼓ジャンボリー)※ 終了

期 日：2025年7月13日(日)
場 所：大阪・関西万博会場内 EXPO アリーナ「Matsuri」(大阪市此花区)
主 管：大阪・関西万博1000人太鼓実行委員会
出演団体：111団体

■ 第10回大学太鼓フェスティバル ※ 終了

期 日：2025年8月25日(月)
場 所：タワーホール船堀 大ホール(東京都江戸川区)
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団、大学太鼓連盟
出演団体：17団体

■ 第27回日本太鼓全国障害者大会

期 日：2025年10月12日(日)
場 所：上田市交流文化芸術センター・サントミューゼ(長野県上田市)
共 催：社会福祉法人 富岳会
主 管：日本太鼓財団長野県支部
出場団体：18団体

■ 第9回浅草太鼓祭

期 日：2025年11月3日(月・祝)
場 所：調整中
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団、浅草太鼓祭実行委員会、日本太鼓財団東京都支部
主 管：関八州太鼓連合、特定非営利活動法人 東京都太鼓連合
出演団体：20団体程度

■ 第22回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2025年11月16日(日)
場 所：團十郎芸術劇場うらら(石川県小松市)
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団、公益社団法人 石川県太鼓連盟、
一般財団法人 石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部
出場団体：41組

■ 第28回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2026年3月22日(日)
場 所：府中の森芸術劇場 どりーむホール(東京都府中市)
主 管：日本太鼓財団東京都支部
出場団体：50 団体程度

■ 日本太鼓技術普及事業(日本太鼓講習会&資格認定事業)

日本太鼓全国講習会

第73回日本太鼓全国講習会 2025年8月30日(土)・31日(日) 富山県氷見市 ※ 終了

第74回日本太鼓全国講習会 2026年2月21日(土)・22日(日) 福岡県久山町

公益財団法人 日本太鼓財団 概要

＜設 立 日＞ 1997年11月11日

＜公益財団移行日＞ 2012年4月1日

＜資 産＞ 基本財産3億円

＜加盟支部数＞ 47支部(43都道府県)

＜加盟団体数＞ 約650団体

＜会 員 総 数＞ 約17,000人

＜理 事＞ 会 長 長谷川 義 全九州太鼓連合名誉最高顧問

副会長 古屋 邦夫 中日本太鼓連合会長

常務理事 外海 陽子 常 勤

理 事 太田 義高 日本太鼓財団北海道連合会会長

理 事 玉澤 正徳 (一財)日本財団スポGOMI連盟理事長

理 事 山内 強嗣 (福)富岳会理事長

理 事 湯澤 元一 関八州太鼓連合会長

＜評 議 員＞ 評議員 浅野 昭利 (一財)浅野太鼓文化研究所理事長

評議員 岩切 邦光 全九州太鼓連合会長

評議員 河合 睦夫 富山県太鼓協会名誉会長

評議員 小林 一郎 (株)イー・シー・エー代表取締役

評議員 佐藤 淳子 元(一財)ライフ・プランニング・センター理事

評議員 高野 右吉 高野右吉と秩父社中代表

評議員 田中 泰秀 NPO法人東京都太鼓連合理事長

評議員 中西 由郎 元(一財)日本モーターボート競走会監事

評議員 西川恵美子 尾張新次郎太鼓保存会会長

評議員 吉倉 和宏 日本財団常務理事

＜監 事＞ 監 事 伊藤 勝彦 弁護士 ITN法律事務所

監 事 金子 明 (公財)笹川保健財団監事

(五十音順・敬称略)



日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目11番2号
Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378
URL : <https://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail : info@nippon-taiko.or.jp